

# デーヴォ ガイド



**2023.10.2-8**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

1:20 知恵は大通りで叫び、広場でその声をあげ、  
1:21 騒々しい街角で叫び、町の門の入り口で、そのことばを語る。  
1:22 「浅はかな者よ、おまえたちは、いつまで浅はかなことを愛するのか。嘲る者は、いつまで嘲ることを欲するのか。分別のない者は、いつまで知識を憎むのか。  
1:23 わたしの叱責に立ち返れ。おまえたちにわたしの霊を注ぎ、わたしのことばを知らせよう。  
1:24 わたしが呼んだのに、おまえたちは拒んだ。手を差し伸べたのに、耳を傾ける者はなかった。  
1:25 おまえたちはわたしの忠告をすべておざりにし、わたしの叱責を一つも受け入れなかった。  
1:26 わたしもおまえたちが災難にあうときに笑い、恐怖がおまえたちを襲うとき、あざ笑う。  
1:27 恐怖が嵐のようにおまえたちを襲うとき、災難がつむじ風のようにおまえたちに来るとき、苦難と苦悩がおまえたちを襲うとき、  
1:28 そのとき、わたしを呼んでも、わたしは答えない。わたしを捜し求めても、見出すことはできない。  
1:29 それは、彼らが知識を憎み、【主】を恐れることを選ばず、  
1:30 わたしの忠告を受け入れようとせず、わたしの叱責をことごとく侮ったからだ。  
1:31 それで、彼らは自分の行いの実を食らい、自分が企んだことで腹を満たす。  
1:32 浅はかな者の背信は自分を殺し、愚かな

者の安心は自分を滅ぼす。  
1:33 しかし、わたしに聞き従う者は、安全に住み、わざわざを恐れることなく、安らかである。」

知恵というものを、擬人化して表現しています。それほど知恵は、重要で大きな影響力を持っているということです。またまるで意志を持っているかのように、人から人へと伝わり、人や状況を変えてゆくということです。

それほど知恵は大切なものです。ただし、ここで言うところの知恵は、この世の処世術や金儲けの情報ではなく、主のみこころによるもので、人を愛によって生かすところの知恵です。

ですからこの「わたし」というのは、主と置き換えて理解することもできます。主は愛とあわれみに富んだお方であり、義とさばきの王でもあられますが、このように知恵という観点から主のことばを聞くことも意義有ることです。

知恵を得ようと本気にならない人は、ここにあるような苦難を身に受けることとなります。主はあらゆることを通して、私たちに幸いを得るための知恵を与えてくださるのです。学ぶことも大切です。人から意見を聞くこと、時には苦言も喜んで聞きましょう。期待されているゆえのアドバイスや厳しいことばも必要です。

それらは背後に主が愛を持って、語ってくださるのだと悟りましょう。または自分に語られていることについて、主に祈ってそれを正しく取捨選択しつつ、聖霊の導きによって理解し解釈し、生かしてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 3日 火曜

### 箴言

2:1 わが子よ。もしあなたが私のことばを受け入れ、私の命令をあなたのうちに蓄え、  
2:2 あなたの耳を知恵に傾け、心を英知に向けるなら、  
2:3 もしあなたが悟りに呼びかけ、英知に向かって声をあげ、  
2:4 銀のように、これを探し、隠された宝のように探り出すなら、  
2:5 そのとき、あなたは【主】を恐れることをわきまえ知り、神を知ることを見出すようになる。  
2:6 【主】が知恵を与え、御口から知識と英知が出るからだ。  
2:7 主は正直な人のために、すぐれた知性を蓄え、誠実に歩む人たちの盾となり、  
2:8 公正の道筋を保ち、主にある敬虔な人たちの道を守られる。  
2:9 そのとき、あなたは義とさばきと公正を、またすべての良い道筋をわきまえ知る。  
2:10 知恵があなたの心に入り、知識がたましいに喜びとなるからだ。  
2:11 思慮はあなたを守り、英知はあなたを保つ。  
2:12 それらはあなたを悪の道から、ねじれごとを語る者たちから救い出す。  
2:13 その者たちはまっすぐな進路を捨てて闇の道に歩み、  
2:14 悪を行うことを楽しみとし、悪しきねじれごとを喜んでいふ。  
2:15 その進む道は曲がり、彼らは道筋を誤る。  
2:16 また思慮と英知は、あなたをよその女から、ことばの滑らかな見知らぬ女から救い出す。



2:17 この女は若いころの連れ合いを捨てて、自分の神との契約を忘れていふ。  
2:18 彼女の家は死へと、その道筋は死者の霊の国へと下る。  
2:19 この女のもとへ行く者はだれも帰って来ない。いのちの道に至ることはない。  
2:20 こうして、あなたは善良な人たちの道に歩み、正しい人たちの進む道を守る。  
2:21 正直な人たちは地に住まいを得、全き人たちは地に生き残る。  
2:22 しかし、悪しき者たちは地から断たれ、裏切り者たちは地から引き抜かれる。

「わが子よ」とありますから、それは愛する者に向かって語られるものです。私たちは知恵をそのように、神さまからの愛のメッセージとして受けることができます。そして本当の英知は神の知識に至るのです。

知恵のない者は自分に判断の基準がありませんから、周囲に流されてしまいます。良い人ばかりではありませんから、悪の道に行ってしまうこともあるでしょう。「彼らは…やみの道に」とあるように。

「正直な人は…」というのは、すでに知恵のことばです。私たちは経験に限りがありますから、全ての悪と善を体験するなどということはできません。悪を体験してからでは、もう遅いということまで行ってしまうかも知れません。ですから知恵のことばが必要なのです。

体験を超えた知恵のことばによって、自分を戒め、反省し、また励まし、慰めて、正しい道に進みましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 4日 水曜

### 箴言



3:1 わが子よ、私の教えを忘れるな。心に私の命令を保つようにせよ。  
3:2 長い日々と、いのちと平安の年月が、あなたに増し加えられるからだ。  
3:3 恵みとまことがあなたを捨てないようにせよ。それをあなたの首に結び、心の板に書き記せ。  
3:4 神と人の前に好意を得、聡明であれ。  
3:5 心を尽くして【主】に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。  
3:6 あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなたの進む道をまっすぐにされる。  
3:7 自分を知恵のある者とするな。【主】を恐れ、悪から遠ざかれ。  
3:8 それは、あなたのからだに癒やしとなり、あなたの骨に潤いとなる。  
3:9 あなたの財産で【主】をあがめよ。あなたのすべての収穫の初物で。  
3:10 そうすれば、あなたの倉は豊かさで満たされ、あなたの石がめは新しいぶどう酒であふれる。

自分の経験できないようなことについて、また経験できないほどの実績のある人から、アドバイスや教えをもらえるのは感謝なことです。ソロモンは「わが子よ」と、自分の子にその経験や知識から多くのことを教えています。その内容は神との関係についてです。

親として子どもに教えることは色々あるでしょうが、信仰を教えることほど大切なことはありません。それは永遠の命に関することであり、子どもの永遠の幸いにつながることです。また子どもたちが愛し合い受け入れあって平和に人生を全うできるかが掛かっているのです。

その教えは、  
「神と人との前に好意と聡明を得よ」  
「心を尽くして主に抛り頼め」  
「どこにおいても、主を認めよ」  
「自分を知恵のある者と思うな。主を恐れ」  
「財産とすべての収穫の初物で、主をあがめよ」  
「主の懲らしめをないがしろにするな。その叱責をいとうな」  
ということです。  
以上はどれも大切であり、幸いの基ですから、知恵を用いて、自分に適用しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 5日 木曜

### 箴言



- 3:11 わが子よ、【主】の懲らしめを拒むな。その叱責を嫌うな。
- 3:12 父がいとしい子を叱るように、【主】は愛する者を叱る。
- 3:13 幸いなことよ、知恵を見出す人、英知をいただく人は。
- 3:14 知恵で得るものは金で得るものにまさり、その収穫は黄金にまさるからだ。
- 3:15 知恵は真珠よりも尊く、あなたが喜ぶどんなものも、それと比べられない。
- 3:16 知恵の右の手には長寿があり、左の手には富と誉れがある。
- 3:17 知恵の道は楽しい道。その通り道はみな平安である。
- 3:18 知恵は、これを握りしめる者にはいのちの木。これをつかんでいる者は幸いである。
- 3:19 【主】は知恵をもって地の基を定め、英知をもって天を堅く立てられた。
- 3:20 主の知識によって深淵は張り裂け、雲は露を滴らせる。
- 3:21 わが子よ、見失ってはならない。知性と思慮をよく見守れ。
- 3:22 それらは、たましいのいのちとなり、あなたの首に麗しさを添える。
- 3:23 こうして、安心して自分の道を歩み、あなたの足はずまずかない。
- 3:24 横たわるとき、あなたに恐れはない。休むとき、眠りは心地よい。
- 3:25 にわかに起こる恐怖に、悪しき者たちの来襲に、おびえるな。
- 3:26 【主】があなたの頼みであり、足が震にかからないように、守ってくださいから。

よりも黄金よりもまさり、長寿と誉れと富と楽しさと平安といのちに満ちています。またこの自然界が神の知恵によって回っていることが記されています。

神さまがその無限の知恵を用いて、全てを治めていられているのなら、当然その知恵によって生きる者が幸いを得ることができるのです。主の知恵を求めましょう。主の知恵を聞いたなら、そのように生きて本当に知恵のある者となりましょう。

「わが子よ」とソロモンは勧告しますが、それはまさに主の勧告でもあります。主の知恵は聖書によって与えられます。聖書のことばを聞いたなら、それをよく見張り、見失わないようにしましょう。

聞いたのに従わないままで忘れていたみことばはないでしょうか。それを今からでも実行しましょう。そうするなら「眠りはこちよい」ものとなり、「わなにかからないように、守って」いただけることを信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 6日 金曜

### 箴言



- 3:27 あなたの手に善を行う力があるとき、受けるべき者にそれを控えてはならない。
- 3:28 あなたに物があるとき、隣人に向かって、「帰って、また来なさい。明日あげよう」と言うな。
- 3:29 隣人が、あなたのそばで安心して住んでいるとき、その人に悪を企むな。
- 3:30 あなたに悪い仕打ちをしていないのなら、理由もなく人と争うな。
- 3:31 暴虐を行う者を羨むな。彼の道をどれ一つ選ぶな。
- 3:32 【主】は、曲がった者を忌み嫌い、直ぐな人と親しくされるからだ。
- 3:33 悪しき者の家には、【主】ののろいがある。正しい人の住まいは、主が祝福される。
- 3:34 嘲る者を主は嘲り、へりくだった者には恵みを与えられる。
- 3:35 知恵のある者は誉れを受け継ぎ、愚かな者は恥辱を高く掲げる。

「受けるべき者にそれを控えてはならない。」とあります。これは愛の教えですが、また知恵の教えでもあるのです。与える者は幸いになるという、経験者からのアドバイスでもあり、確かなことです。またこのように、これが聖書という神のことばである以上、神さまが定められた永遠の真理でもあるのです。

「悪を企むな。」とあります。これは当たり前のようですが、人から「安心」を奪うような言動ということでしょう。そうすると気を付けなければいけないことも出てきます。時には正義感からそれをしてしまう場合さえあるので、注意が必要です。

「人と争うな」というのもまた同じで、自分は正しいと思ひ込みやすい人ほど、結局は人と争っているという例もあります。「悪いうちをしていない

なら」とありますから、相手とは平和な関係であつたのでしょうか。それなのに自分の価値観を押し付けるようにして、相手に挑むのは争いを招く原因になります。

「暴虐の者をうらやむな。」というのも、当たり前のようですが、しかし、人間は時として不正や非情な手段で、富や名声を得た人をさえ羨ましく感じる場合があります。主のみこころに反して良い思いをしている人をうらやむのは愚かなことです。崩れかけた崖の上の豪邸を見て、自分もあそこに住みたいと言っているようなものです。人生の方向性を間違えることになります。

恥を見る愚か者にならないで、誉れを受け継ぐ「知恵のある者」になりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 7日 土曜

### 箴言

4:1 子たちよ、父の訓戒に聞き従え。耳を傾け、悟りを得よ。

4:2 私が良い教訓をあなたがたに授けるからだ。私の教えを捨ててはならない。

4:3 私が、父にとっては息子であり、母にとっては、かよわいひとり子であったとき、

4:4 父は私を教えて言った。「私のことばがおまえの心を支えるように。私の命令を守って生きよ。」

4:5 知恵を得よ。悟りを得よ。忘れてはならない。私の口のことばからそれではならない。

4:6 知恵を捨てるな。これがあなたを守る。これをお愛せ。これがあなたを保つ。

4:7 知恵の初めに、知恵を買え。あなたが得たものすべてに換えて、悟りを買え。

4:8 それを尊べ。それはあなたを高める。それを抱きしめると、それはあなたに誉れを与える。

4:9 それは頭に麗しい花の冠を与え、輝かしい冠をあなたに授ける。」

4:1 子どもらよ。父の訓戒に聞き従い、悟りを得るように心がけよ。

4:2 私が良い教訓をあなたがたに授けるからだ。私のおしえを捨ててはならない。

4:3 私が、私の父には、子であり、私の母にとっては、おとなしいひとり子であったとき、

4:4 父は私を教えて言った。「私のことばを心に留め、私の命令を守って、生きよ。」

4:5 知恵を得よ。悟りを得よ。忘れてはならない。私の口の授けたことばからそれではならない。

4:6 知恵を捨てるな。それがあなたを守る。これをお愛せ。これがあなたを保つ。



4:7 知恵の初めに、知恵を得よ。あなたのすべての財産をかけて、悟りを得よ。

4:8 それを尊べ。そうすれば、それはあなたを高めてくれる。それを抱きしめると、それはあなたに誉れを与える。

4:9 それはあなたの頭に麗しい花輪を与え、光栄の冠をあなたに授けよう。」

男性の場合、父との関係が良くないと、指導者や上司との信頼関係を築くのに苦勞するという話をよく聞きます。父との関係で悩む人は多いようです。しかしどんな父であっても、少し離れて冷静になれば、どこかしら教えられる部分はあるものです。そこを探して、父から「訓戒」を得るように努められるなら、その人の人間関係をより良いものとするでしょう。

また女性の場合は母親との関係が一番影響するかも知れませんが、父の存在も重要で、父から正しい権威と世の秩序などを学ぶようです。やはり父からの「訓戒」を受け取ることが大切です。

親から教えられたことを、よく心に思い返し、それを大切にしましょう。もちろん主のみことばに比べれば、それは人間のことばであり、不完全なものかもしれませんが。しかし親から学ぶという姿勢はその人の人間関係を健全なものとするのです。特に成長やきよめのために必要な、人から学ぶという姿勢に影響するのです。

主の摂理と権威、そして必要なら癒しと回復の中で、父の「ことばを心に留め、…命令を守って、生き」みましょう。

もしもそれが難しい親子関係の場合は、天の父である神様を信頼し、頼って、甘えて、その教えを大切に生きていきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 8日 日曜

### 箴言

4:10 わが子よ、聞け。私の言うことを受け入れよ。そうすれば、あなたのいのちの年月は増す。

4:11 私は知恵の道をあなたに教え、まっすぐな道筋にあなたを導いた。

4:12 あなたが歩むとき、その歩みは妨げられず、走っても、つまずくことはない。

4:13 訓戒を握りしめて、手放すな。それを保て。それはあなたのいのちだから。

4:14 悪しき者たちの進む道に入るな。悪人たちの道を行ってはならない。

4:15 それを無視せよ。そこを通るな。それを避けて通れ。

4:16 まことに、彼らは悪を行わなければ眠れず、人をつまずかせなければ、その眠りが奪われる。

4:17 まことに、彼らは不義のパンを食べ、暴虐の酒を飲む。

4:18 正しい人の進む道は、あけぼのの光のようだ。いよいよ輝きを増して真昼となる。

4:19 悪しき者の道は暗闇のよう。彼らは何につまずくかを知らない。

4:20 わが子よ、注意して私のことばを聞け。私の言うことに耳を傾けよ。

4:21 それらを見失うな。自分の心のただ中に保て。

4:22 それらは、見出す者にとっていのちとなり、全身の癒やしとなるからだ。

4:23 何を見張るよりも、あなたの心を見守れ。いのちの泉はこれから湧く。

4:24 曲がったことを言う口をあなたから取り除き、ゆがんだことを言う唇をあなたから遠ざけよ。



4:25 あなたの目が前方を見つめ、まぶたがまっすぐ前を向くようにせよ。

4:26 あなたの足の道筋に心を向けよ。そうすれば、あなたのすべての道は堅く定まる。

4:27 右にも左にもそれてはならない。あなたの足を悪から遠ざけよ。

悪から遠ざかるための教えです。悪を行う者は主からの祝福を受けられません。また誰かを傷つけるようなことでもあれば、主はだまってはおられません。しかし悪には甘い誘惑がつきもので、人間はそれから逃れるには、弱いものです。

ですから私たちは悪から遠ざかる必要があります。聖書は「無視せよ」と言います。関わっていることで、引きずられることもあるのです。決して自分が悪の誘惑に強いなどと思っはけません。

「前方と見つめ」「足の道筋に心を配り」、自分の態度をしっかりと決めましょう。「義人の道はあけぼのの光のようだ」とあります。聖霊の光によって、それが可能になります。主イエスの十字架から与えられる光を常にいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

